

7月のほけんだより

令和6年7月発行
なでしこ保育園



平年の梅雨入りは6月上旬ですが、今年は6月21日頃より梅雨入りとなり、期間も短いと予想されています。急激な湿度と気温の上昇に伴い、熱中症の危険性について、6月頃からニュースで注意喚起がされています。保育園でも熱中症対策として、暑さ指数(WBGT)計を用い、熱中症危険度の把握と、野外での活動内容の制限や小まめな水分補給を行うなど、対応を行っております。

水遊びが始まります

子どもたちが大好きな夏がやってきました！園では、気温などを見ながら、安全に配慮して水遊びを始めます。水遊びは、意外と体力を消耗するため、夜は早めに寝かせるなど、疲れを残さないようお願いします。園でも子どもの体調をよく見ていきますが、朝、体調の悪いときは職員に伝えてください。

子どもたちが、安全に水遊びを楽しめるよう、ご協力をよろしくお願いします。



「いつもとちがう」
ことがあったら
お知らせください！

下痢などの体調不良はもちろん、朝起きたときのきげん、顔色、食欲など。



つめは短く切ってください！

つめが伸びていると、引っかかってけがをしたり、お友達をひっかいてしまったりと、思わぬけがを招きます。

【プールについて】

下記の症状がある場合、プールはできません。
下記症状がある場合は、必ずお知らせください。

- ・軟便・下痢、
- ・とびひ
- ・ラッシュガードで隠れない水いぼがある
※隠れても水いぼが潰れそうだったり、状態に応じて入れない場合もあります。
- ・絆創膏を塗布している場合
(傷口が出血していたり、浸出液がでている、など)
- ・気管支拡張テープを貼付している場合
- ・体調不良により、風邪薬（抗生剤・たんきり・咳止め等）を内服している場合



「水いぼ」って？

つるんとしたいぼで、かいたりして破れると、中から白くドロっとしたものが出てきます。



とびひは、かきむしった浸出液、水疱内容物などで、次々に移ります。感染力が強いため、とびひが治るまで、シャワー・プールはできません。

知っていますか？ アタマジラミ症

～早く見つけて、根気よく対応～

アタマジラミは、意外と身近なところに潜んでいて、頭と頭を寄せ合うことでうつります。また、寝具やタオル、ロッカーなどを介してうつることもあり、集団生活の中で広がるのがしばしばです。不潔だからうつるわけではありません。

近隣で発生した情報があればお知らせください。

どうやって見つける？

シラミの動きは素早いので、髪に卵がついているかどうか調べます。髪をかき分けて、根元までよく見ましょう。卵は白くてフケと紛らわしいのですが、アタマジラミの卵は爪でしごいても取れません。



どう対応すればいい？

① くしでよくすく

目の細かいくしで髪をとかして、卵を取り除きます。



② 専用のシャンプーを使う

駆除成分の入ったシャンプーで髪を洗います。家族内でうつし合うことが多いので、家族全員で使いましょう。

③ 寝具はこまめに洗う

寝具はできれば毎日洗いましょう。アタマジラミは熱に弱いので、ふとん乾燥機を使うのもおすすめです。



アタマジラミが見つかったら・・・

- ・薬局で相談してください。**保育園にもお知らせください。**
- ・駆虫剤（スミスリン）を使用して駆虫しましょう。
- ・タマゴがなくなるまで、タマゴを取り除いてください。
※髪を短くすると早く対処できます。タマゴが見つからなくなるまで、プールはできません。
- ・家族全員の点検、駆虫をしましょう。
- ・ふとんや帽子は毎日持ち帰り、シーツやカバーは洗濯してください。
55℃以上のお湯に5分以上つけた後に洗濯をすると、タマゴと虫の両方を殺虫できます。
アイロンを使用することも有効です。

6月の感染症罹患者数

- ・溶連菌感染症 11名
- ・手足口病 1名
- ・流行性角結膜炎（はやり目） 2名
- ・水痘（みずぼうそう） 1名

6月末日より、年少児クラスで、軟便・下痢症状があるお子さまが増えています。軟便・下痢症状がある場合は、早めの病院受診にて、検査・治療の実施にご協力をお願いします。

軟便・下痢症状がある場合は、シャワー・水遊び（プール）ができません。

7月の保健行事予定

- 3日(水) 身体測定 0・1・2歳児
- 4日(木) 身体測定 3・4・5歳児